

複数の Cisco Unified CallManager 脆弱性

Critical	アドバイザーID : cisco-sa-20060712-cucm	CVE-2006-3593
	初公開日 : 2006-07-12 16:00	3593
	バージョン 1.0 : Final	CVE-2006-3594
	CVSSスコア : 10.0	2006-3594
	回避策 : Yes	CVE-2006-3592
	Cisco バグ ID :	2006-3592

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Unified CallManager (CUCM) 5.0 に Command Line Interface (CLI) およびセッション開始プロトコル (SIP) 関連した脆弱性があります。認証された管理者がルート 特権の基礎オペレーティング システムにアクセスすることを可能にするかもしれない CLI に潜在的な特権 拡大脆弱性があります。また任意の コード実行という結果に終るかもしれないまたはサービス拒否を引き起こす SIP 要求に含まれているホスト名の処理にバッファオーバーフローの脆弱性があります。これらの脆弱性は Cisco Unified CallManager 5.0 だけに影響を与えます。

Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。これらの脆弱性の影響を軽減するための回避策はありません。

このアドバイザーは [712-cucm](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco Unified CallManagerのバージョンだけ 5.0(1)、5.0(2)、5.0(3) および 5.0(3a) 影響を受けています。

CallManagerソフトウェア実行のバージョンは CLI で CUCM IPT プラットフォーム 管理インターフェイスでまたはコマンド `show version` **アクティブ**の実行が > **ソフトウェア示す**判別されたナビゲートである場合もあります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

その他のCisco製品は現在 Cisco Unified CallManager のすべての前のバージョンを含むこれらの脆弱性から、影響を受けるために知られていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2006-July-12 1600 UTC (GMT)	初版リリース
-----------	----------------------------------	--------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。